

築山（津波避難施設）が整備されました

有明町野井倉の築山の特徴

- ・普段から近隣住民の親しまれる場所となり、いざという時には、緊急の避難施設として活用。
- ・さまざまな避難者を想定して、手すりの付いた階段、スロープや夜間の避難対策として太陽光照明設備を設置。
- ・津波警報などの解除までの期間を考慮し、生活環境を整備するためにベンチ兼用の収納ボックスとトイレを2箇所ずつ設置。



整備地：有明町野井倉 7996 番地 1
高さ：8.3m 避難可能人数：100 人

さんふらわあフェリーターミナル近くにも築山が完成（県事業）

- ・防災ベンチ内に仮設トイレ、アルミブランケットなどを常備。
- ・ソーラー発電照明（3基）に、非常用コンセント、USB電源を装備。



■問い合わせ先：総務課 危機管理グループ TEL 472-1111（内線 409）

水道課事務所移転予定のお知らせ

現在、水道課は志布志庁舎2階にあります。本年夏頃に志布志町の農協前バス停付近へ事務所を移転する予定です。新事務所移転後は、水道に関する手続き窓口は原則本所のみとなりますが、市役所各庁舎にお越しの場合でも、遠隔操作窓口（テレビ電話）での手続きができる仕組みを導入を予定しています。

移転日が決まりましたら後日あらためて、お知らせします。



■問い合わせ先：水道課 総務経理グループ TEL 472-1111（内線 261・262）

防災の備えとして ～行政告知放送端末を活用ください～

行政告知放送端末は、市役所や自治会からの放送はもちろんのこと、緊急放送、ラジオ放送が聴けますので、災害時の情報収集手段として活用できます。

また、端末は乾電池でも作動しますので、停電時でも放送を聴くことができます。

新たに行政告知放送端末の設置を検討されている方は、情報管理課までお問い合わせください。すでに設置されている方は、災害に備え、乾電池を入れ替える、放送が正常に流れているかなど、確認をお願いします。

なお、放送が流れないなど異常がみられる際は、「リセット作業」を試してください。

作業を行っても改善されない場合は、情報管理課までお問い合わせください。



◆ リセット作業の手順 ◆

- ① 電池が入っている場合は、端末のふたを手前方向に外し、電池を外す。
- ② アダプタ（コンセント）を外す。
- ③ 電源ランプが消灯していることを確認し、10秒ほどそのままの状態待つ。
- ④ 再びアダプタ（コンセント）をさす。

一部の避難所に公衆無線LAN（フリーWi-Fi）を整備しています

市では、避難所などの公共施設に公衆無線LANを整備し、災害時に必要な情報伝達手段の確保に努めています。災害時だけでなく、施設を利用される場合は、誰でも無料でフリーWi-Fiを使うことができます。

ただし、フリーWi-Fiに接続するためには事前に利用登録が必要です。利用登録方法については、各施設に掲示している接続ガイドを参考に手続きを行ってください。

既に整備している施設	市役所（志布志庁舎1階、2階、4階、有明庁舎1階、有明舎別館1階、松山庁舎1階）、市文化会館、市立図書館、老人福祉センター（ホール）、やっちくふれあいセンター（ロビー、親子指導室）、新橋地区公民館、泰野地区公民館、尾野見地区公民館、香月地区公民館、安楽地区公民館、志布志地区公民館、伊崎田地区公民館、有明地区公民館、川西地区公民館、城山総合公園体育館、志布志運動公園体育館、有明総合体育館
------------	--

赤色は一次開設避難所、緑色は二次開設避難所に指定されている施設です。

公開型GIS「しぶしる（志布志市地図情報システム）」を活用ください

市公式ホームページのトップページから、インターネットに接続しているタブレットやスマートフォンなどで、いつでも・どこでも・どなたでも、地図情報システムを使用できます。掲載している防災マップでは、土砂災害警戒区域や津波災害警戒区域を表示していますので、お住まいの地域の区域状況を確認できます。

■問い合わせ先：情報管理課 情報統計グループ TEL 474-1111（内線 322）



▲しぶしる